

2017年10月20日

各位

第一フロンティア生命保険株式会社

新商品

～第一生命グループ～ 第一フロンティア生命
外貨建変額個人年金保険「プレミアベスト」を販売開始

プレミアベスト

第一フロンティア生命保険株式会社(社長:川島 貴志)は、2017年11月20日より、新商品
年金原資運用実績連動保証型変額個人年金保険(通貨指定型)「プレミアベスト」を販売開始いた
します。

当商品は、年金原資額として、運用期間中の積立金額の最高額が運用期間満了時に外貨建で
保証される業界初^(※)の機能を有した一時払の変額個人年金保険です。

(※)2017年9月当社調べ、生命保険協会に加盟する生命保険会社では初の機能となります。

～「プレミアベスト」の主な特徴～

I. 運用期間満了時に積立金額の最高額を外貨建で保証

業界初!^(※)

- 運用期間中(10年)、積立金額が一時払保険料より一度でも、少しでもふえた場合、年金原資額は10年間で振り返って、最も高い積立金額を外貨建で保証します。
- 一度もふえなかった場合、年金原資額は一時払保険料を外貨建で保証します。

II. 運用期間中でも、円ベースの目標値に到達したら成果を確保

- 「目標値到達時定額円貨建終身保険移行特約」の付加により、「一時払保険料の円換算額」に対する「解約返還金額の円換算額」の割合が目標値に到達した場合、自動的に円貨で運用成果を確保して定額の円建の終身保険に移行します。
- 目標値に到達しなかった場合、運用期間中の積立金額の最高額を運用期間満了時に外貨建で保証します。

III. グローバルな長期分散投資により、運用成果を追求

- 国内外の株式・債券に分散投資し、配分比率を月次で見直します。
- リスクを分散しつつ、価格上昇傾向の資産への配分比率を高め、収益獲得をめざします。

当社は、今後も「一生涯のパートナー」をグループミッションとする第一生命グループの一員として、常にフロンティア・スピリット溢れる創造的な発想で、お客さまのニーズに対応した商品・サービスをタイムリーに提供してまいります。

○「プレミアベスト」に関する費用とリスクなどについて

【費用について(この保険に係る費用は、以下の費用の合計になります)】

■すべてのご契約者に負担していただく費用

- ・保険契約関係費…特別勘定の資産総額に対して年率 2.98%
 - ・資産運用関係費…信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して年率 0.10%(税抜き)
- ※上記の信託報酬のほか、金融派生商品の取引に関わる費用、監査費用、信託事務の諸費用および消費税等を間接的にご負担いただきます。これらの費用は、費用発生前に金額や割合を確定することが困難なため、事前に表示することができません。(ただし、金融派生商品の取引に関わる費用のうち参照指数の助言報酬、指数の組成・維持およびレバレッジ取引等にかかる費用として、参照指数の算出に際し、年率 0.888%を差し引きます。)なお、記載の費用は 2017 年 9 月現在の数値であり、今後変更される場合があります。

■特定のご契約者に負担していただく費用

運用期間中の解約返還金額は、つぎの費用を控除したうえで計算されます。

解約控除の額 = 基本保険金額 × 解約控除率(6.0%~0.6%)

■年金受取期間中

- ・保険契約関係費(年金管理費)…受取年金額に対して 0.4%(円貨で年金を受け取る場合は 0.35%)
- * 保険契約関係費(年金管理費)は 2017 年 9 月現在の数値であり、将来変更することがありますが、年金受取開始時点の保険契約関係費(年金管理費)は、年金受取期間を通じて適用されます。なお、「年金の円貨支払特約(支払ごと円貨換算型)」を付加した場合は、0.4%となります。

■定額の終身保険への移行後

「目標値到達時定額円貨建終身保険移行特約」または「定額終身保険移行特約(移行後通貨指定型)」を付加して定額の終身保険に移行する場合、移行後基本保険金額は、保険契約の維持などに必要な費用および死亡給付金を支払うための費用を控除する前提で算出されます。

- * 上記の費用は、移行日の年齢、性別、経過期間などによって異なるため、これらの計算方法は表示していません。

■通貨を換算する場合の費用

「保険料円貨入金特約」「保険料外貨入金特約」などの特約の為替レートは、為替手数料として TTM との差額(25 銭~50 銭)を加味したレートであり、その差額はお客さまの負担となります(為替レートは、2017 年 9 月現在の数値であり、将来変更することがあります)。

- * TTM(対顧客電信売相場仲値)は、第一フロンティア生命所定の金融機関が公表する値となります。

■この他に外貨のお取扱いに必要な費用を負担していただくことがあります。

【投資リスクについて(損失が生じるおそれ)】

- ・ この保険は、日本を含む先進国・地域の株式、日本を含む先進国の債券などで実質的に運用されるため、運用実績が積立金額、死亡給付金額、解約返還金額などの増減につながることから、株価や債券価格の下落、為替の変動などにより、積立金額、解約返還金額は一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。
- ・ これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。資産運用の成果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、第一フロンティア生命または生命保険募集人などの第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【為替リスクについて(損失が生じるおそれ)】

為替相場の変動により、お受取時の為替レートで円貨に換算した年金原資額、死亡給付金額、解約返還金額などが、ご契約時の為替レートで円貨に換算した年金原資額、死亡給付金額、解約返還金額などを下回る場合や、ご契約時の為替レートで円貨に換算した一時払保険料相当額を下回り損失が生じる場合があります。

【解約・減額する場合のリスクについて(損失が生じるおそれ)】

運用期間中に解約・減額などをする場合の解約返還金額には最低保証はありませんので、一時払保険料相当額を下回り、損失が生じるおそれがあります。年金原資額として一時払保険料相当額または運用期間中の積立金額の最高額が適用されるのは、運用期間満了時のみとなります。

この商品は、第一フロンティア生命を引受保険会社とする生命保険であり、預金とは異なります。

このニュースリリースは保険募集を目的としたものではありません。

詳細につきましては商品発売日以降、「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)兼商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」などを必ずお読みください。

以上